

平成21年度 コンプライアンス推進アクション・プログラム実施状況の評価

「平成21年度コンプライアンス推進アクション・プログラム」の実施状況について、会長を委員長とする全社コンプライアンス委員会において、確認および評価を行った結果、以下のとおり、全推進項目について実施し、目標を達成したことを確認しております。

推進項目		進捗状況	評価	継続要否
		実施 一部未実施 未実施	A:目標達成 B:目標に一部未達 C:目標未達	継続(AP) 継続(日常) 項目削除
企業風土・社員意識に係るもの				
1	職場単位のコミュニケーション促進行事の開催	実施	A	継続(AP)
2	弁護士による現地機関法務講演会等の開催	実施	A	継続(AP)
3	職種間の垣根を越えた研修等の実施	実施	A	継続(AP)
4	部門間(水力・火力・原子力等)における意見・情報の交換とコミュニケーションの促進	実施	A	継続(AP)
5	経営層のメッセージ発信等による率先垂範と現地機関ミーティング・機関長会議等での周知徹底	実施	A	継続(AP)
6	階層別研修におけるコンプライアンス教育の実施	実施	A	継続(AP)
7	Eラーニングによるコンプライアンス研修の実施	実施	A	継続(AP)
内部統制システムに係るもの				
8	ダム変位データ等の重要データについての本店技術主管箇所での分析評価	実施	A	継続(AP)
コンプライアンス推進活動に係るもの				
9	全社コンプライアンス委員会・機関別コンプライアンス委員会の連携強化	実施	A	継続(AP)
10	コンプライアンス事案の情報共有	実施	A	継続(AP)
11	コンプライアンスアンケートの実施	実施	A	継続(AP)
知識・理解不足に係るもの				
12	関係法令情報の迅速な周知	実施	A	継続(AP)
その他				
13	全社のコンプライアンス推進のあり方と推進体制の検討	実施	A	項目削除

(についての補足説明)

<進捗状況区分> 年度内に実施しているかどうかによる区分。

全13項目について平成21年度中に実施していることを確認した。

<評価区分> 実施状況が当該項目の目標を達成しているかによる区分。

全13項目について目標を達成していることを確認した。

<継続要否区分> 平成22年度における当該項目の扱いを示す。

「継続(AP)」:22年度もアクション・プログラムとして継続して取り組む(12項目 / 全13項目)。

「項目削除」:アクション・プログラムの項目としては削除するが、コンプライアンス関連業務として継続する(1項目 / 全13項目)。